

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成28年9月23日 (2016.9.23)

【公開番号】特開2014-150988(P2014-150988A)  
 【公開日】平成26年8月25日 (2014.8.25)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-045  
 【出願番号】特願2013-23067(P2013-23067)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成28年8月5日 (2016.8.5)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

遊技の進行に応じて閉状態から遊技媒体が入賞可能な開状態へと変化する可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに基づいて、特典を付与する遊技機であって、

前記可変入賞装置を前記閉状態から前記開状態に制御する可変入賞装置制御手段と、  
 開放中演出を実行する開放中演出実行手段と、を備え、

前記可変入賞装置制御手段は、遊技者にとって有利な有利状態中の少なくとも第 1 期間と、当該第 1 期間終了後の第 2 期間と、において前記可変入賞装置を前記閉状態から前記開状態に制御し、

前記開放中演出実行手段は、

前記第 1 期間において前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞したか否かに応じて、前記第 2 期間において異なる前記開放中演出を実行可能であり、

前記第 1 期間において前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞しなかったときは、前記第 1 期間において前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞しなかったことを認識可能な前記開放中演出を前記第 2 期間において実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 7  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 7】

上記目的を達成するため、本発明の遊技機は、

遊技の進行に応じて閉状態から遊技媒体が入賞可能な開状態へと変化する可変入賞装置（例えば特別可変入賞球装置 7 A、7 B など）に遊技媒体が入賞したことに基づいて、特典（例えば大当り遊技状態における賞球、大当り遊技状態終了後の時短状態や確変状態など）を付与する遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 など）であって、前記可変入賞装置を前記閉状態から前記開状態に制御する可変入賞装置制御手段（例えばステップ S 1 1 4 ~ S

116の処理を実行するCPU103など)と、開放中演出を実行する開放中演出実行手段(例えばステップS605、S612、S613の処理を実行する演出制御用CPU120など)と、を備え、前記可変入賞装置制御手段は、遊技者にとって有利な有利状態(例えば大当り遊技状態など)中の少なくとも第1期間(例えば第13ラウンドなど)と、当該第1期間終了後の第2期間(例えば第15ラウンドなど)と、において前記可変入賞装置を前記閉状態から前記開状態に制御し、前記開放中演出実行手段は、前記第1期間において前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞したか否かに応じて、前記第2期間において異なる前記開放中演出を実行可能であり(例えば、ステップS611にてYesと判定された場合、確変確定報知演出(図24(F)参照)を実行し、ステップS611にてNoと判定された場合、開放中演出Cを実行する)、前記第1期間において前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞しなかったときは、前記第1期間において前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞しなかったことを認識可能な前記開放中演出を前記第2期間において実行可能であることを特徴とする。

(1)上記目的を達成するため、本発明の他の遊技機は、

遊技の進行に応じて閉状態から遊技媒体が入賞可能な開状態へと変化する可変入賞装置(例えば特別可変入賞球装置7A、7Bなど)を備え、前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに基づいて、遊技者に所定の特典(例えば大当り遊技状態における賞球、大当り遊技状態終了後の時短状態や確変状態など)を付与する遊技機(例えばパチンコ遊技機1など)であって、前記可変入賞装置を所定期間、前記閉状態から前記開状態に制御する可変入賞装置制御手段(例えばステップS114~S116の処理を実行するCPU103など)と、前記所定期間において、前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに基づいて、複数種類の入賞演出のうちいずれかを実行する入賞演出実行手段(例えばステップS625、S627の処理を実行する演出制御用CPU120など)と、を備え、前記可変入賞装置制御手段は、遊技者にとって有利な特定遊技状態(例えば大当り遊技状態など)中の少なくとも第1期間(例えば第13ラウンドなど)と、当該第1期間終了後に開始する第2期間(例えば第15ラウンドなど)と、において前記可変入賞装置を前記閉状態から前記開状態に制御し、前記入賞演出実行手段は、前記第1期間と前記第2期間とのいずれの期間において前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことによって前記所定の特典を付与するかに応じて、いずれの前記入賞演出を実行するかの割合が異なるように、前記入賞演出を実行する(例えばステップS625では入賞演出A(図24(D)参照)を実行し、S627では入賞演出B(図23(F)参照)を実行する)ことを特徴とする。

このような構成によれば、第1期間と第2期間のいずれにおいて可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことによって所定の特典を付与するかに応じて、いずれの入賞演出が実行されるかの割合が異なるので、遊技者の遊技状況に対応した演出が実行可能になり、遊技の興趣が向上する。